

平成27年度

全国及び奈良県学力・学習状況調査の調査結果
の活用による指導改善に向けた説明会



平成27年11月2日(月) 1

本日の日程

1. 全国及び奈良県学力・学習状況調査結果について
2. 各教科等における指導改善のポイント
 - (1) 国語
 - (2) 算数・数学
 - (3) 理科
3. 今後の県教育委員会の施策及び平成28年度以降の全国及び奈良県学力・学習状況調査の実施について

平成27年度全国学力・学習状況調査

調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

「何ができて、何ができなかったのか」を把握し、「できなかったことが、できるようになる」ようにするために活用する。

A問題：主として「知識」に関する問題

- ◆身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- ◆実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

B問題：主として「活用」に関する問題

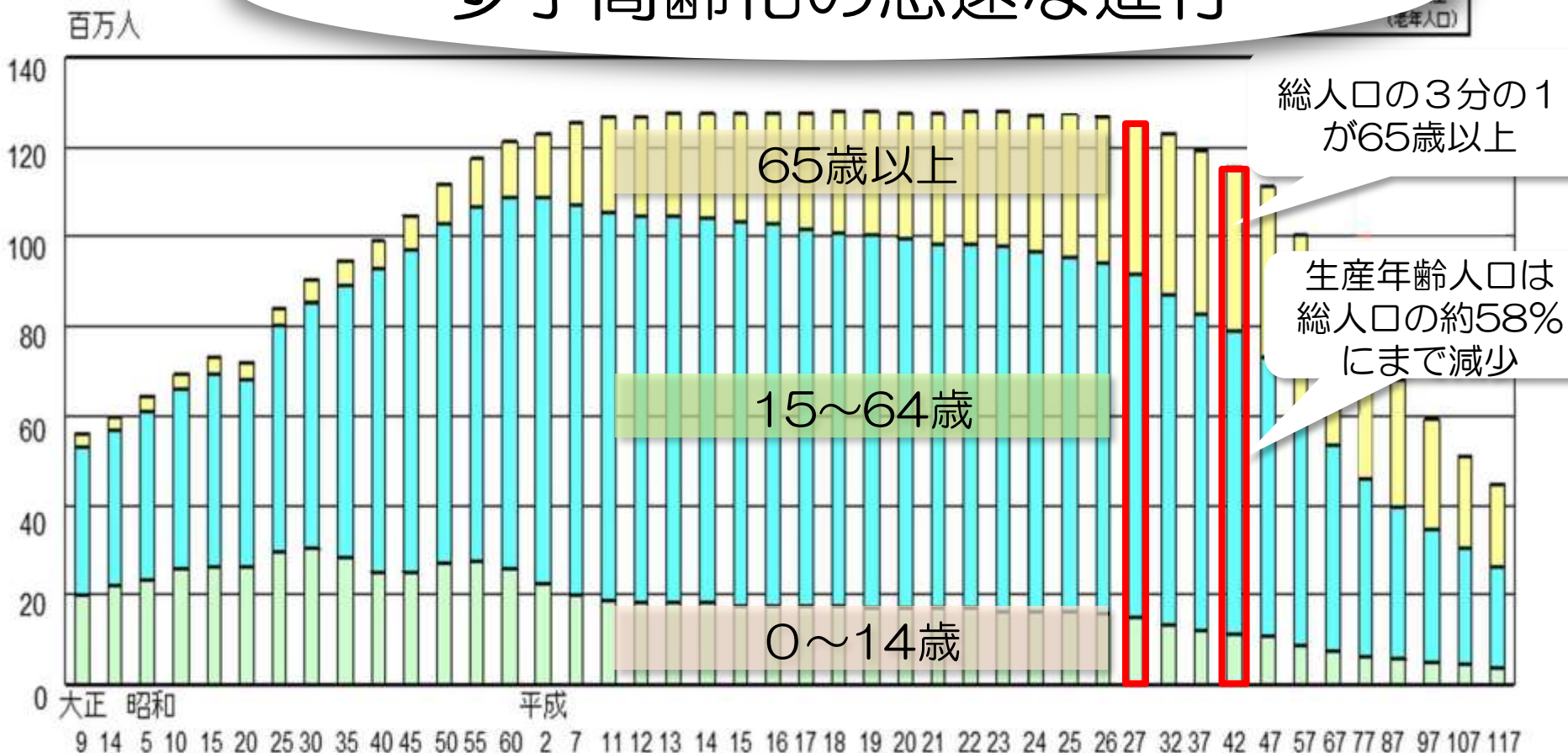
- ◆知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- ◆様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

特に、主に活用に関する問題（B問題）が、どのような学力を求めているのか把握し、各学校での指導改善に役立てる。

人口の推移と将来人口

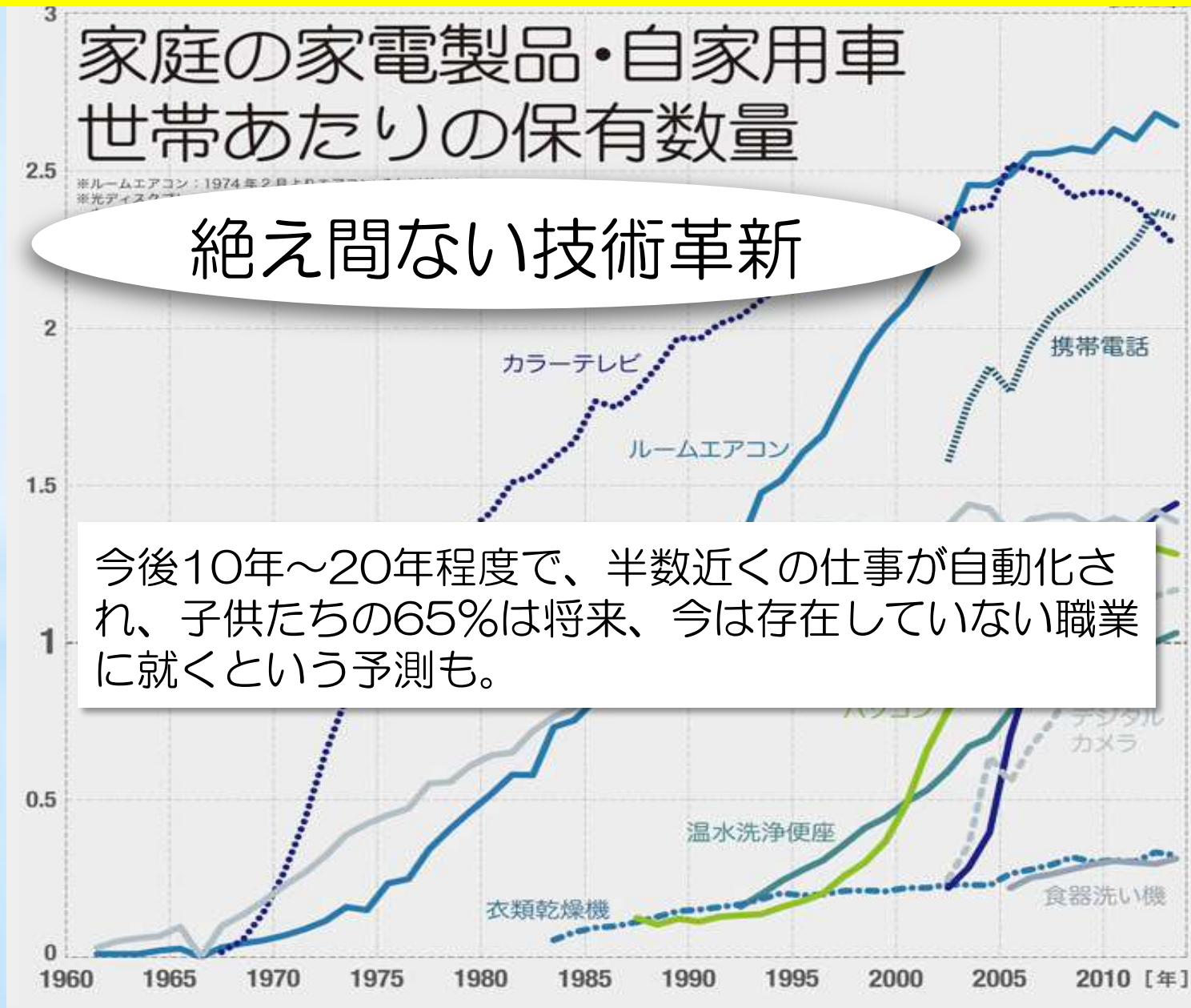
◆ 少子高齢化の進行により、約50年後には総人口が約3割減少、65歳以上の割合が総人口の約4割に達する見込み。

少子高齢化の急速な進行



(出典) 総務省統計局「日本の統計2014」より文部科学省作成

1 全国及び奈良県学力・学習状況調査について



2013年 内閣府消費動向調査を基に、JCCCA 全国地球温暖化防止活動推進センターが作成

奈良県教育委員会

文化

経済

環境問題

戦争

飢餓・貧困

グローバル化の進展

子どもたちが、このような厳しい時代を乗り越えていく力を身に付けるために…

- 知識を覚えることよりも、情報を使いこなす力を重視。
- 自分の考えをもつ、適切に判断する、まわりの人たちに分かりやすく表現する そういった力が求められている。

これからの学校教育の中で…

何を教えるか

知識の質・量の改善

どのように学ぶか

学びの質や深まりを重視

平成25年度全国学力・学習状況調査問題 【国語B】

平均正答率：49.6%中17.9%

1 打ち上げ花火の歴史

[1613 (慶長18) 年]
中国人が打ち上げた花火を、徳川家康が見物した。

↓

[1733 (享保18) 年]
東京の隅田川で、花火が打ち上げられた。

↓

A

[1879 (明治12) 年ごろ]
海外から塩素酸カリウムなどが輸入されるようになった。

↓

[1910 (明治43) 年]
事故防止のため、花火の製造と打ち上げに、めん許や許可を必要とする法りつができた。

2 打ち上げ花火の種類

打ち上げ花火は、「昼花火」と「夜花火」に分けられる。


「昼花火」は、行事などの開始の合図として打ち上げられる、「音物」が多い。

「夜花火」は、大きく「わり物」、「ボカ物」に分けられる。


「わり物」は代表的な打ち上げ花火で、破れつした時に星が球状に飛び散るものである。

「わり物」の中には、「キク物」や「ボタン物」などがある。

ー [キク物]
星がさくの花のように、おを引いて広がるもの。



ー [ボタン物]
星がぼたんの花のように、おを引かないもの。




現在における打ち上げ花火の持ちょうとして、「型物」の開発が進んでいることが挙げられる。「型物」とは、あるものの形になって星が飛び散るもので、最近では、土星や人の顔の形などになるよう

3 花火師の小野さんの声


ア いろいろな苦勞をこえて

小野さんは、「
B
」
と話していました。花火の打ち上げのうらには、花火師さんのいろいろな苦勞があることを初めて知りました。



イ つくり出す伝統

小野さんは、「現在、花火の色として、水色やピンク色などの中間色も使ったカラフルな花火を作っています。また、音楽に合わせて花火を打ち上げるなどの新しいちよう戦もしています。」と話




4 まとめ

打ち上げ花火は、およそ400年もの歴史をもった、日本のすばらしい伝統といえます。

C

◆ あとがき

打ち上げ花火の花火師さんたちと、夜空に打ち上げられた花火が、今以上にちがいがあ



火のことを調べて、日本の伝統のわざと…

「4 まとめ」には、題名「打ち上げ花火の伝統」に合う内容を書いたほうがいいと思うわ。書き出しの文(「打ち上げ花火は、…伝統といえます。」)は、「歴史」に注目し、「1 打ち上げ花火の歴史」の内容をまとめているわね。

1 打ち上げ花火の歴史

[1613 (慶長18) 年]
中国人が打ち上げた花火を、徳川家康が見物した。

[1733 (享保18) 年]
東京の隅田川で、花火が打ち上げられた。

A
179 (明治12) 年ごろ
外から塩素酸カリウムなど
されるようになった。

(明治43) 年
の製造
げ

2 打ち上げ花火の種類

打ち上げ花火は、「昼花火」と「夜花火」に分けられる。

「昼花火」は、行事などの開始の合図として打ち上げられる、「音物」が多い。

「夜花火」は、大きく「わり物」「ボカ物」に分けられる。

「わり物」は代表的な打ち上げ花火で、破れつした時に星が球状に飛び散るものである。

「わり物」の中には、「キク物」や「ボタン物」などがある。

ー【キク物】
星がさくの花のように、おを引いて広がるもの。

ー【ボタン物】
星がぼたんの花のように、おを引かないもの。

現在における打ち上げ花火の持ちょうとして、「型物」の開発が進んでいることが挙げられる。「型物」とは、あるものの形になっ
が散るもので、最近では

3 花火師の小野さんの声

ア いろいろな苦勞をこえて

小野さんは、「
B
」
と話していました。花火の打ち上げのうらには、花火師さんの
いろいろな苦勞があることを初めて知りました。

イ つくり出す伝統

小野さんは、「現在、花火の色として、水色やピンク色などの中間色も使ったカラフルな花火を作っています。また、音楽に合わせて花火を打ち上げるなどの新しいちよう戦もしています。」と話


4 まとめ

打ち上げ花火は、およそ400年の歴史をもった、日本のすばらしい伝統といえます。

C

◆ あとがき

打ち上げ花火の歴史や種類、花火師さんたちの苦勞を知ることで、夜空にかがやく打ち上げ花火が、今以上に美しく見えるにちがいありません。打ち上げ花火のことを調べて、日本の伝統のわざと心



まとめは、「現在」の打ち上げ花火に注目し、「2 打ち上げ花火の種類」と「3 花火師の小野さんの声」の「イ つくり出す伝統」の中に書かれている、現在における打ち上げ花火の形や色、打ち上げるときにくふうを取り上げて書いたほうがいいね。そして、最後に考えたことをまとめて書いたらどうかな。

<p>1 打ち上げ花火の歴史</p>	<p>2 打ち上げ花火の種類</p>	<p>3 花火師の小野さんの声</p>	<p>4 まとめ</p>
<p>[1613 (慶長18) 年] 中国人が打ち上げた花火を、徳川家康が見物した。</p>	<p>打ち上げ花火は、「昼花火」と「夜花火」に分けられる。「昼花火」は、行事などの開始の合図として打ち上げられる、「音物」が多い。</p>	<p>ア いろいろな苦勞をこえて</p>	<p>打ち上げ花火は、およそ400年の歴史をもった、日本のすばらしい伝統といえます。</p>
<p>[1733 (享保18) 年] 東京の隅田川で、花火が打ち上げられた。</p>	<p>「夜花火」は、大きく「わり物」、「ボカ物」に分けられる。「わり物」は代表的な打ち上げ花火で、破れつした時に星が球状に飛び散るものである。</p>	<p>小野さんは、「 B 」</p>	<p>C</p>
<p>A [1879 (明治12) 年ごろ] 海外から塩素酸カリウムなどが輸入されるようになった。</p>	<p>「わり物」の中には、「キク物」や「ボタン物」などがある。</p>	<p>と話していました。花火の打ち上げのうらには、花火師さんの いろいろな苦勞があることを初めて知りました。</p>	<p>◆ あとがき</p>
<p>[1910 (明治43) 年] 事故防止のため、花火の製造と打ち上げに、めん許や許可を必要とする法りつができた。</p>	<p>ー [キク物] 星がさくの花のように、おを引いて広がるもの。</p>	<p>イ つくり出す伝統</p>	<p>打ち上げ花火の歴史や種類、花火師さんたちの苦勞を知ることで、夜空にかがやく打ち上げ花火が、今以上に美しく見えるにちがいありません。打ち上げ花火のことを調べて、日本の伝統のわざと心にふれることができました。</p>
<p>ー [ボタン物] 星がぼたんの花のように、おを引かないもの。</p>	<p>小野さんは、「現在、花火の色として、水色やピンク色などの中間色も使ったカラフルな花火を作っています。また、音楽に合わせて花火を打ち上げるなどの新しいちょう戦もしています。」と話していました。</p>	<p>4 ページ</p>	
<p>1 ページ</p>	<p>2 ページ</p>	<p>3 ページ</p>	<p>4 ページ</p>

日常の事象の中で、自分に必要な情報を読み取り、根拠を明らかにして、自分の考えを具体的に書く力が求められている。

(1) 教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)

	国語 A				国語 B			
	平成27年度		平成26年度		平成27年度		平成26年度	
	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県
小学校	9.8/14 70.0	9.9/14 70.5	10.9/15 72.9	11.0/15 73.2	5.9/9 65.4	5.8/9 64.7	5.5/10 55.5	5.3/10 53.5
中学校	25.0/33 75.8	25.2/33 76.2	25.4/32 79.4	25.3/32 79.0	5.9/9 65.8	5.9/9 65.1	4.6/9 51.0	4.6/9 50.8

	算数・数学 A				算数・数学 B			
	平成27年度		平成26年度		平成27年度		平成26年度	
	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県
小学校	12.0/16 75.2	12.1/16 75.5	13.3/17 78.1	13.4/17 78.6	5.9/13 45.0	5.8/13 44.8	7.6/13 58.2	7.5/13 57.7
中学校	23.2/36 64.4	23.5/36 65.3	24.3/36 67.4	24.7/36 68.5	6.2/15 41.6	6.3/15 41.7	9.0/15 59.8	9.1/15 60.5

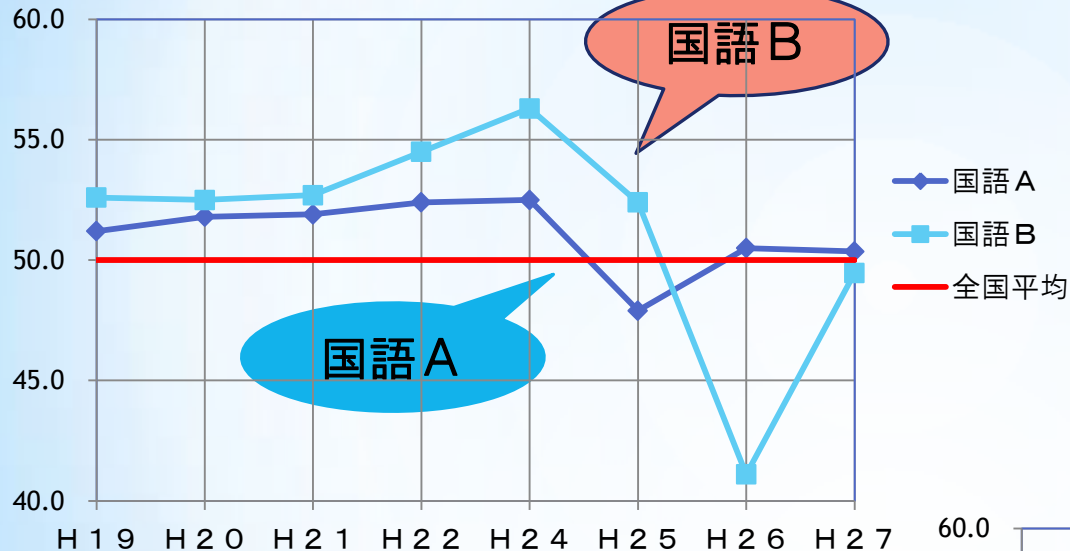
	理 科			
	平成27年度		平成24年度	
	全国	奈良県	全国	奈良県
小学校	14.6/24 60.8	14.4/24 60.0	14.6/24 60.8	14.8/24 61.7
中学校	13.3/25 53.0	12.9/25 51.5	13.3/26 51.2	13.3/26 51.2

○国語、算数・数学では、「知識」に関する問題(問題A)については、小・中学校共に、全国平均を上回っているが、「活用」に関する問題(問題B)は、中学校数学以外は全国平均を下回っている。

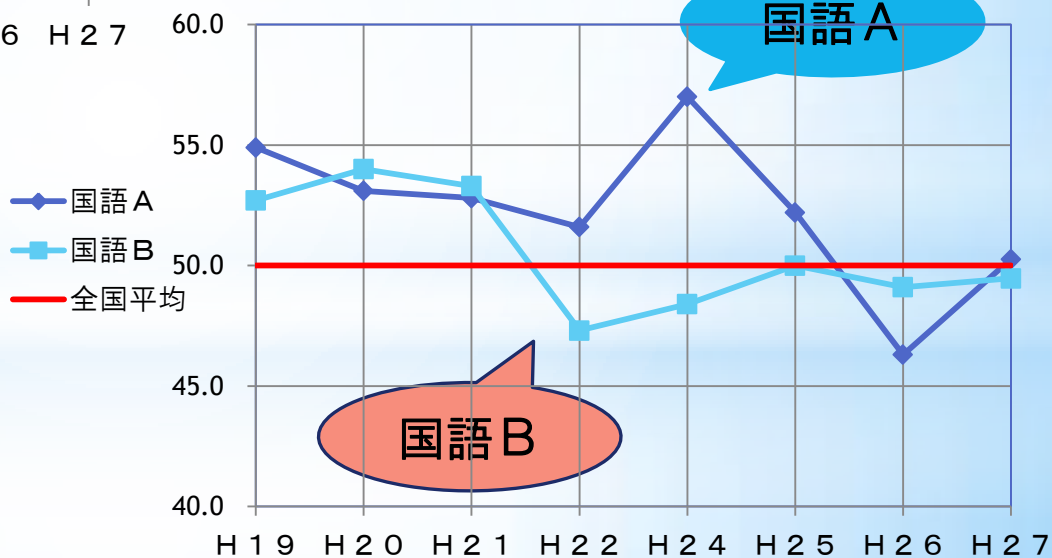
○理科に関する調査では、小・中学校共に全国平均を下回っている。

本県の全国に対する相対的な推移

小学校国語

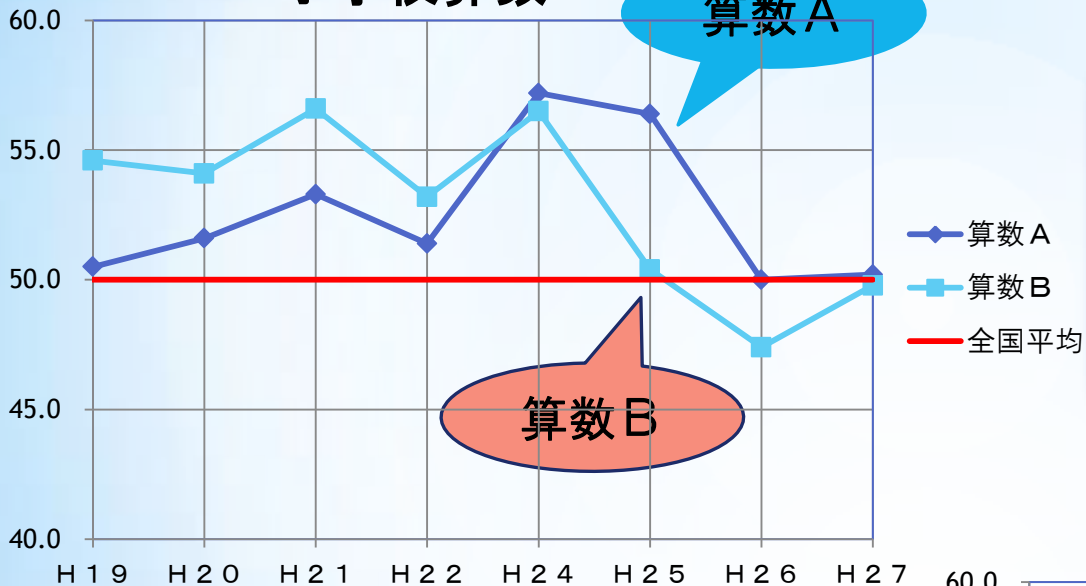


中学校国語



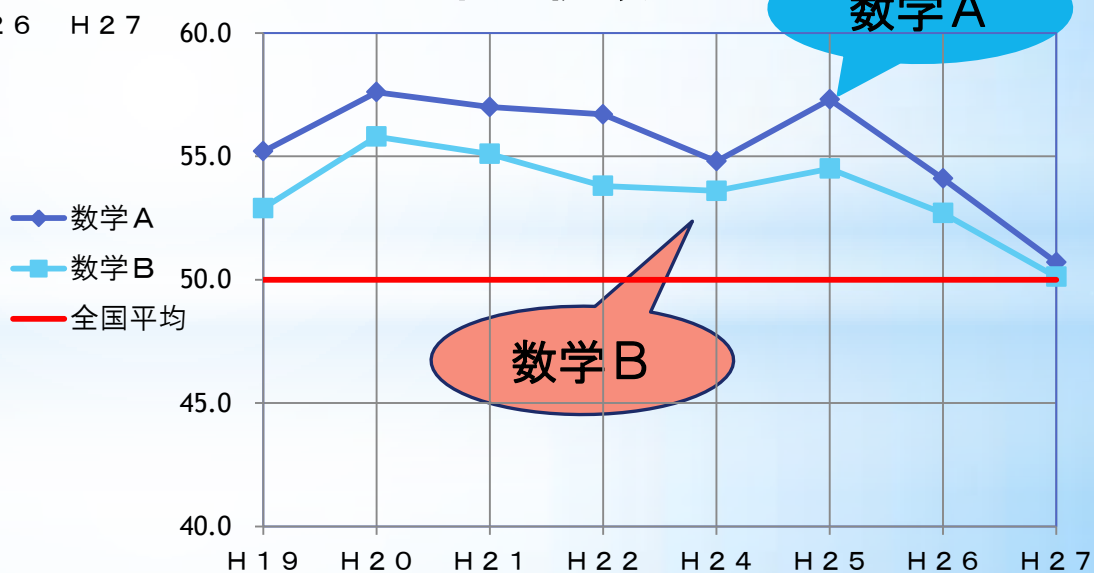
本県の全国に対する相対的な推移

小学校算数



○国語、算数・数学に関して、小・中学校共に、全国平均と比較して見られる課題に対して、指導改善に取り組んでいる姿がうかがえる。

中学校数学



(2) 児童生徒に関する調査 ① 学習に対する関心・意欲・態度(中学校)

※全国平均より5ポイント以上上下回った項目のみ抽出

	質問事項	回答類型	全国	奈良県	差
国語	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	肯定的回答	59.2	43.3	-15.9
	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	肯定的回答	54	43.4	-10.6
	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	肯定的回答	65.7	58.2	-7.5
数学	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	肯定的回答	40.9	35.3	-5.6
	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	肯定的回答	72.5	66.7	-5.8
学習の時間 総合的な	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	肯定的回答	74.6	69.3	-5.3
	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	肯定的回答	58	42.9	-15.1
理科	理科の勉強は好きですか	肯定的回答	61.9	56.6	-5.3
	理科の勉強は大切だと思いますか	肯定的回答	69.3	63.6	-5.7
	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	肯定的回答	46.9	39.5	-7.4
	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	肯定的回答	54.3	47.5	-6.8
	理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか	肯定的回答	38.4	25.2	-13.2
	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか	週1回以上	39.2	14.4	-24.8
	観察や実験を行うことは好きですか	肯定的回答	80.1	73.2	-6.9
	理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	肯定的回答	55	42	-13
	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	肯定的回答	67.2	57.6	-9.6

(2) 児童生徒に関する調査

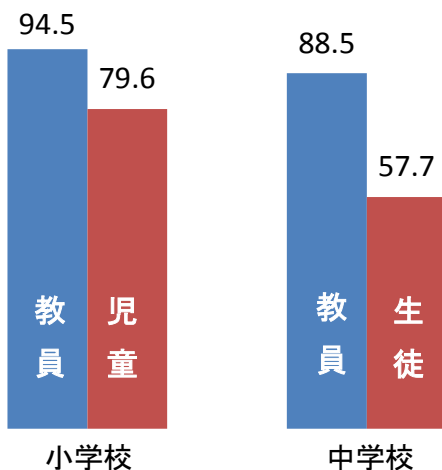
② 学習状況(言語活動・指導状況)

※全国平均より5ポイント以上下回った項目のみ抽出

	質問事項	回答類型	全国	奈良県	差
小学校	5年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	肯定的回答	74.2	68.7	-5.5
	5年生までに受けた授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	肯定的回答	86.3	79.6	-6.7
	5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	肯定的回答	75.3	66.7	-8.6
	5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	肯定的回答	87.1	75.6	-11.5
中学校	1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	肯定的回答	85.9	76.1	-9.8
	1, 2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	肯定的回答	78.2	60.6	-17.6
	1, 2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	肯定的回答	65.7	50.4	-15.3
	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	肯定的回答	62.9	53.6	-9.3
	1, 2年生のときに受けた授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	肯定的回答	79.7	57.7	-22.0
	1, 2年生のときに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	肯定的回答	59.3	41.7	-17.6
	1, 2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	肯定的回答	73.7	47.9	-25.8

「目標(めあて)の提示」と「振り返り」について

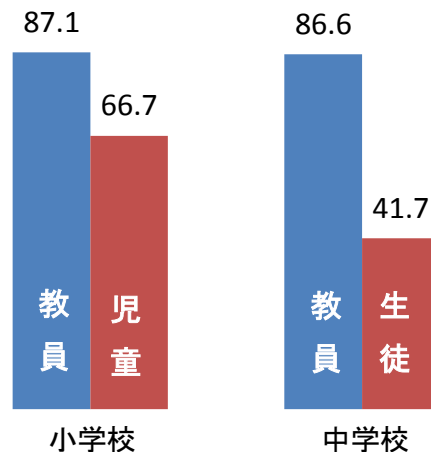
目標(めあて)の提示



- 授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れましたか(教員)
- 授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか(児童・生徒)

教員は、目標(めあて)を示したつもり、振り返りを行ったつもりでも、児童生徒に必ずしも意識されていない。

振り返り



- 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか(教員)
- 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか(児童・生徒)

児童生徒質問紙と学校質問紙の比較から

2 全国学力・学習状況調査結果

(2) 児童生徒に関する調査

※全国平均より5ポイント以上上下回った項目のみ抽出

③学習時間、学校生活、社会に対する興味・関心、地域との関わり等

	質問事項	回答類型	全国	奈良県	差
小学校	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか	週に1回以上	17.6	11.3	-6.3
	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	肯定的回答	62.8	57.4	-5.4
	家で、学校の授業の復習をしていますか	肯定的回答	54.5	45	-9.5
中学校	家で、学校の宿題をしていますか	肯定的回答	89.3	84.2	-5.1
	家で、学校の授業の復習をしていますか	肯定的回答	52	41	-11.0
	読書は好きですか	肯定的回答	67.9	62.7	-5.2
	あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思いますか	肯定的回答	78.3	72.1	-6.2
	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	肯定的回答	84.2	79	-5.2
	家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	肯定的回答	83.4	76.8	-6.6
	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	肯定的回答	55.9	49.7	-6.2
	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	肯定的回答	32.9	27.9	-5.0
今住んでいる地域の行事に参加していますか	肯定的回答	44.8	39.3	-5.5	

(1) 教科に関する調査(国語、算数・数学)

小 学 校			中 学 校		
	国 語	算 数		国 語	数 学
県	60.7	72.9	県	68.1	71.6
基 礎	64.5	79.7	基 礎	69.4	75.4
活 用	44.1	47.7	活 用	63.7	57.7
目標値	66.3	73.3	目標値	67.0	68.5

国 語

○話す・聞く力は高いものの、書く力に課題が見られる。(小学校)

○指定された字数で書いたり自分の立場を明確にして書いたりすることはできているが、自分の体験を踏まえて自分がとった立場の理由を書くこと。(中学校)

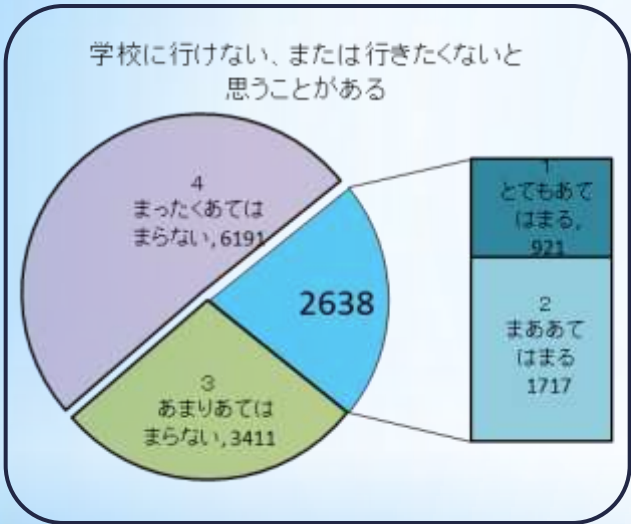
算数・数学

○数と計算、図形の領域の正答率は高く、量と測定、数量関係の領域の正答率が低い。(小学校)

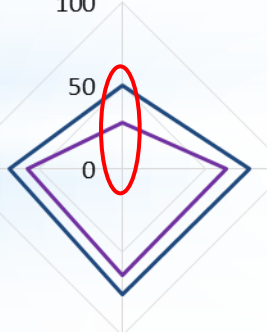
○小学校算数と比べると基礎と活用の正答率の差が小さい。また、領域別には量と測定の問題の正答率が低い。(中学校)

(2) 生徒に関する調査

「学校に行けない、行きたくないと思うことがある」と回答した生徒について



④教科などによって先生が代わるので戸惑うことがある
100



⑥自分が同級生からどう思われているか気になる

⑦自分が友達からどう思われているか気になる

【自己肯定感】

46自分には、良いところがあると思う
45自分のことが好きである

30自分で計画を立てて、勉強している

③中学校の勉強についていけるか不安だと感じることがある

【学習習慣】

【生活習慣】

47自分は、友達から認められていると思う

2朝は、自分で起きている

【学校生活】

5朝食をきちんと食べている

9学校のきまりを守っている

14学校での出来事を、家の人に話している

【学校生活】

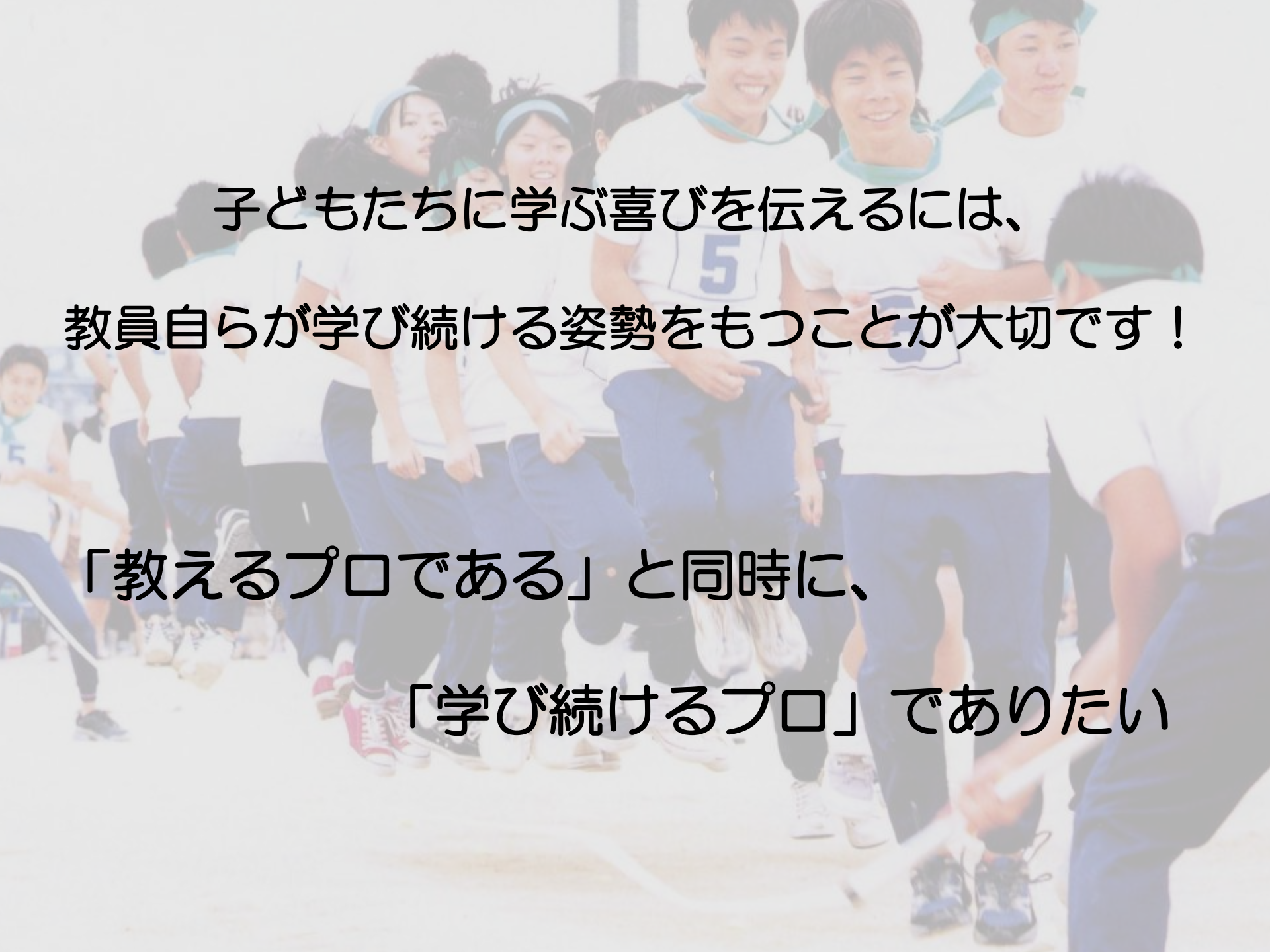
43学校が好きである

27自分からすすんで勉強している

— とてまあてはまる

— まったくあてはまらない

中学校1年生の質問紙調査で「学校に行けない、行きたくないと思うことがある」と回答した生徒の質問紙項目を比較すると、特に、自己肯定感や勉強への不安に対する項目において、相関が認められる。

A group of young students in white and blue uniforms are participating in a physical education activity on a field. They are wearing headbands and are in various poses, some sitting on the ground and others standing. The background is a bright, outdoor setting.

子どもたちに学ぶ喜びを伝えるには、
教員自らが学び続ける姿勢をもつことが大切です！

「教えるプロである」と同時に、
「学び続けるプロ」でありたい

奈良県先生応援サイト

http://www.nps.ed.jp/ouen/
 ユーザー名：ouen
 パスワード：ouen01



まなびー奈良

http://www.nps.ed.jp/



奈良県教育委員会

授業モデル動画

大造じいさんとがん (小学校5年生)



数直線を使った割合の考え方 (小学校5年生)



空気や水をとじこめると (小学校4年生)

